

## 経営研究センター報第24号発行にあたって

南山大学経営研究センターは、「経営学および関連諸分野に関する学内外の研究者ならびに企業・団体等との共同研究を推進すること」を目的として活動しています。研究プロジェクト・ワークショップの研究助成を主要事業と位置づけ、実践科学である経営研究の促進とその研究成果の社会還元に努めております。2023年度には、学内から研究助成の応募があった研究プロジェクト2件、ワークショップ3件と、本研究センターが主催する講演会1件、研究会1件が開催されました。これらの研究支援活動を通じて、それぞれの分野における最新の研究知見を継続的に積み重ね、その成果を学内外に広く発信しています。また、本研究センターでは企業アニュアルレポート等の資料収集と閲覧サービスも行っております。

23年度に採択された「企業財務リスク管理プロジェクト」「企業とコミュニティ研究会」の研究プロジェクト2件は、新規に実施されたものです。「マーケティング論・産業組織論・ビジネス経済学」「消費者行動」「観光経済学」のワークショップ3件は、長年に渡り継続的に開催されています。「NANZANファイナンス」も長い実施実績を持つワークショップですが、隔年開催のため23年度は一橋大学によって開催されました。Covid19の5類移行に伴って、21, 22年度にはオンラインないしハイブリッド開催とせざるを得なかった研究プロジェクト・ワークショップも、23年度には学外者を交えた例年通りの対面開催に徐々に戻りつつあります。実施されたワークショップ・研究プロジェクト等の活動状況の詳細については本誌に掲載しておりますので、ご一読ください。今度も、研究プロジェクト・ワークショップの研究助成によって、学内外の研究者（企業・団体等）との共同研究と研究者交流の機会を支援してまいります。

本研究センターでは、学内研究者（またはセンターの活動に係わる学外研究者）による経営学および関連諸分野の未発表論文を、「南山大学経営研究センターWorking Paper」として随時発行しています。23年度は応募がなかったですが、24年度はすでに1件の応募があります。22年度からは著者の要望に応じてワーキングペーパーの南山大学図書館機関リポジトリ登録を開始しており、22年度発行の2件を含め現在まで3件のリポジトリ登録が完了しました。これからも、本研究センターのWEB上での成果公開とともにワーキングペーパーのリポジトリ登録を継続し、研究プロジェクト・ワークショップとは異なる形式での研究支援を推進してまいります。

学術的な経営研究の支援はこれまでどおり堅持しつつ、産業界等の要請に応えることも本研究センターの存在意義だと考えます。このため、2023年度本研究センター事業では、地元企業や経済団体等と情報交換を行い、講演会の開催、共同研究の助成・支援を行いました。2024年度も引き続きこれら事業を行っていく予定です。

本研究センターの願いは、センターのこれら活動が、経営学および関連諸分野の研究がより一層発展するための一助となることにあります。本研究センターの活動について、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、今後ともよろしく願いいたします。

2024年7月

経営研究センター長

赤壁 弘康